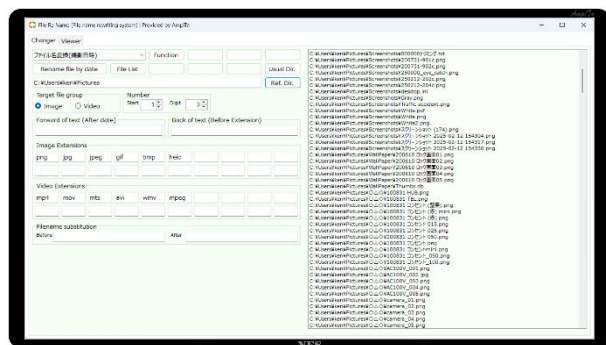


# File ReName

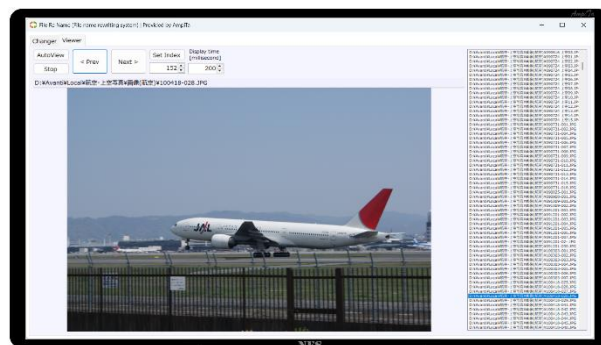
## ファイル名置換システム (FRN)

制作・著作 AmpiTа Project (代表 西 謙一)

紹介サイト <https://www.ampita.jp>



ファイル名置換コントロール画面



イメージビューア画面

### ■インストール方法

1. FRN の配布パッケージ(フォルダ)を丸ごとパソコンや USB フラッシュメモリにコピー
2. File\_Re\_Name.exe をダブルクリックして起動

\*. インストーラーなどはないポータブルアプリケーションです。直接起動してください。

### ■アンインストール方法

1. インストール時に保存されたフォルダを丸ごと削除

### ■詳細情報

AmpiTа 公式サイトに掲載 (<https://www.ampita.jp>)

### ■FRN 主要機能 1. ファイル名置換

設定した方法でファイル名を置換します。スマホ等で撮影した画像に付与される『IMG\_9999』などのファイル名を『250203-001』や『お花見 0002』のように変換します。

### ■FRN 主要機能 2. ファイルリスト

指定したディレクトリ以下の全ファイルをリスト化します。FRN で一意的な ID も付与します。

### ■FRN 主要機能 3. イメージビューア

指定したディレクトリ以下の全画像を表示します。ミリ秒間隔で連続表示させることもできます。

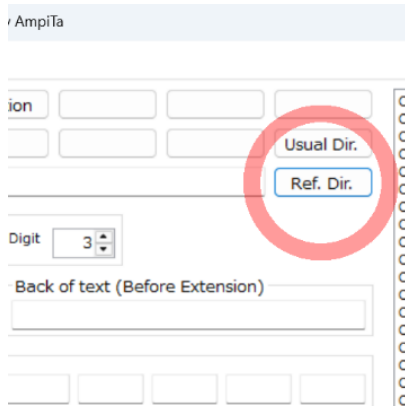
名 称	File ReName(ファイル・リネーム)
機能要約	ファイル名の置換、画像の表示
取扱種別	無償ソフト (フリーウェア・ポータブルアプリケーション)
機能制限	なし
動作環境	Windows OS 全般
推奨画面	1,600×900 ドット以上
連絡先	info@ampita.jp (AmpiTа Project 事務局)

## ■ ファイル名置換 (基本)

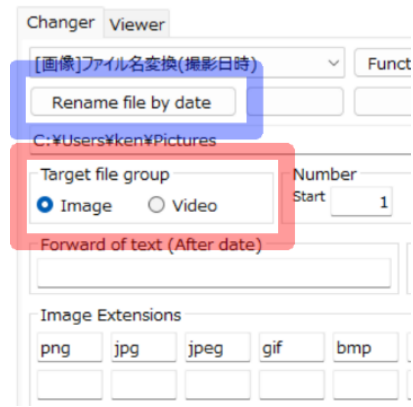
ディレクトリ (フォルダ) 参照ボタン (Ref. Dir.) を押し対象ディレクトリを指定します。対象となる拡張子を画像群 (Image) か動画群 (Video) から選択します。初期値は画像です。

実行ボタン (Rename file by date) を押すと置換処理が始まります。

\*. この処理は不可逆的です。



ディレクトリ選択ボタン (赤枠)



実行ボタン (青枠) とターゲット選択ラジオボタン (赤枠)

## ■ ファイル名基準

ファイル名は日付順と番号順から選択できます。

日付順は最終更新日 (LastWriteTime) に基づく同日内で時刻の早い順に番号を付与します。これが標準です。

番号順は、最終更新日順に 1 つずつ数字が増えていく方法です。

## ■ 拡張子

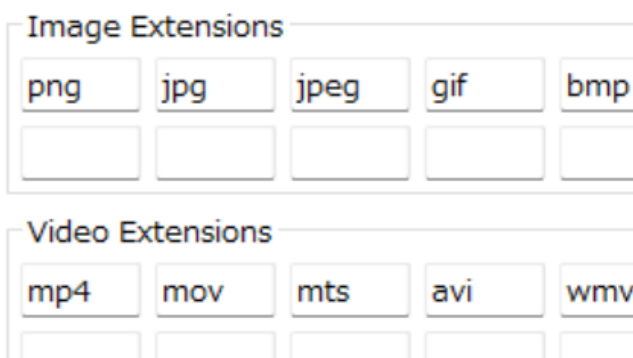
ファイルの拡張子を指定できます。『. jpg』であれば『jpg』と入力します。入力は小文字に限定されます。処理の便宜上画像群と動画群に分けていますが、『pdf』や『docx』などでも処理できます。

## ■ 開始番号

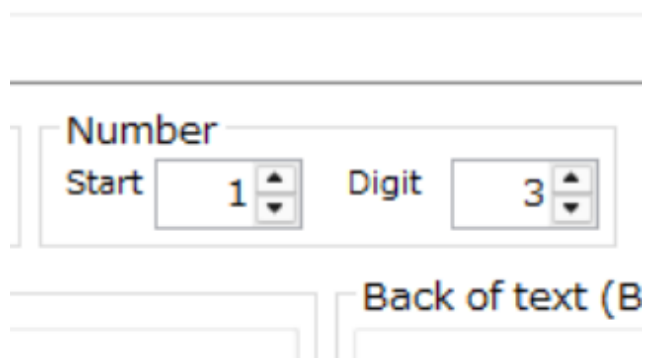
ファイル名の開始番号は Number 枠 Start 欄のアップダウンボタン、または数値直接入力で指定できます。

## ■ 番号桁数

ファイル名の番号の桁数は Number 枠 Digit 欄のアップダウンボタン、または数値直接入力で指定できます。



ファイル拡張子 (Extensions)



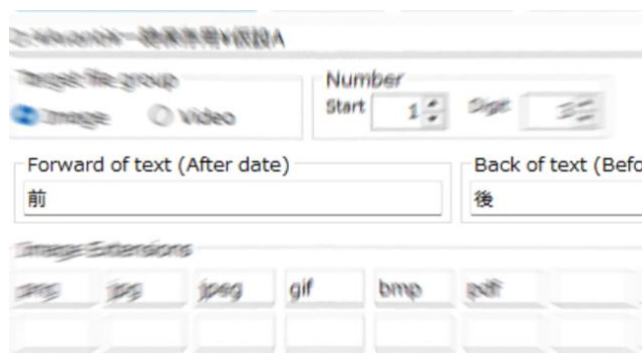
開始番号 (Start) と桁数 (Digit)

## ■前方文字・後方文字

番号の前、および後に任意のテキストを追記できます。日付形式の場合、日付とハイフンの直後が前になるので『250203-前 001 後』になります。番号形式では『前 001 後』のようになります。

## ■ファイル名テキスト置換

ファイル名を任意の文字列をターゲットにして置き換えることができます。例えば『お花見』と名付けたファイルを『夏祭り』に置き換えたい場合、それが1,000個あっても1回の操作で置き換えられます。



前後のテキスト指定(事例では『前』と『後』のテキスト)



ファイル名を任意文字列で置換え

## ■設定保存

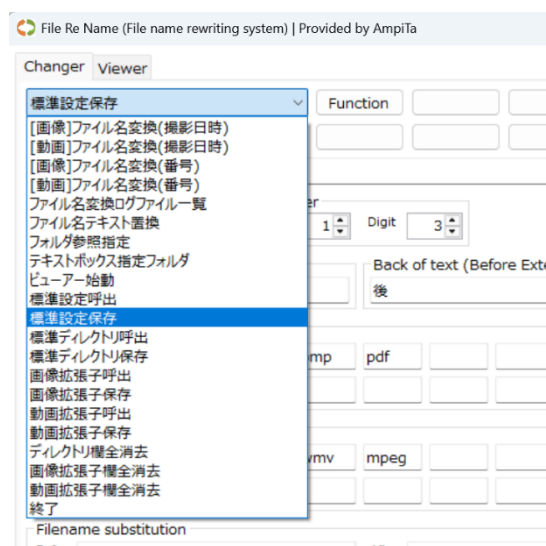
諸設定の内、ディレクトリ名と拡張子は保存して次回以降呼び出して使う事ができます。機能ドロップダウンリストから標準設定保存を選択し、実行します。

FRNのEXEファイルがあるディレクトリ内に『Setup.txt』というファイルが作られ、そこに設定内容が保存されます。このTXTファイルを削除することで初期値にリセットできます。

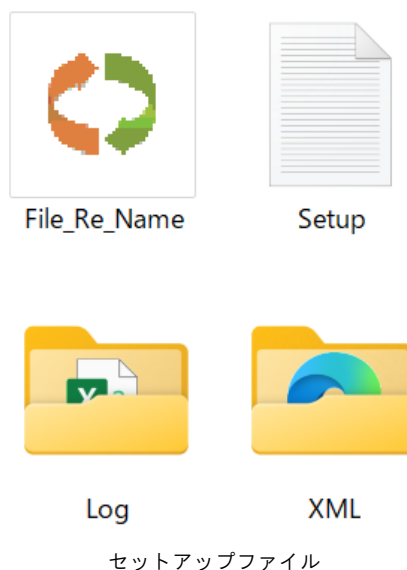
## ■ログファイル

ファイル名の置換が実行されるとFRNのEXEファイルがあるディレクトリ直下のLOGディレクトリにCSVファイル形式でログファイルが自動作成されます。

※. ログファイルは自動削除されません。実行回数に応じて増え続けます。



設定保存

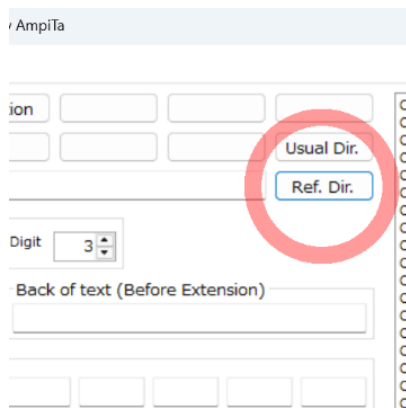


## ■ ファイルリスト (基本)

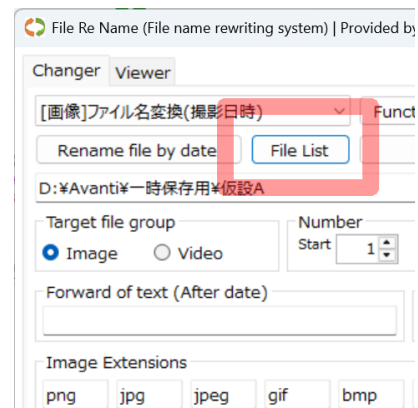
ディレクトリ(フォルダ)参照ボタン(Ref. Dir.)を押し対象ディレクトリを指定します。実行ボタン(File List)を押すと指定ディレクトリ以下の全ファイルのリストアップが始まります。自動的に CSV ファイルが作られ、処理終了後には CSV ファイルが格納されているディレクトリが開いて終わります。

\*. この処理においてファイル名変換などは行われません。ローカルファイルに変化は起こりません。

\*. CSV ファイルは本システムの EXE ファイルが格納されているディレクトリの下位に作られます。読み取り専用の場合、エラーが出ます。



ディレクトリ選択ボタン(赤枠)

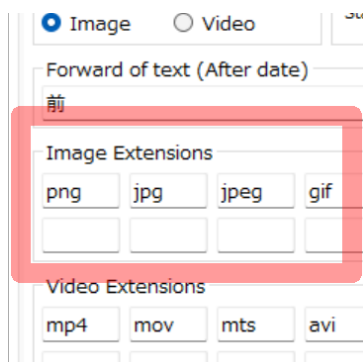


実行ボタン(青枠)とターゲット選択ラジオボタン(赤枠)

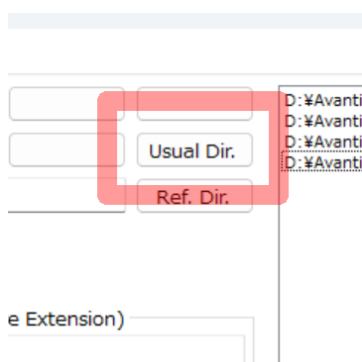
## ■イメージビューア(基本)

FRN の画面はタブ分けで『Changer』と『Viewer』に分かれています。

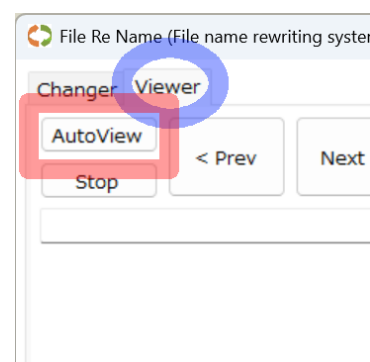
まず Changer タブでビューアの対象となる拡張子を指定します。次にディレクトリ(フォルダ)を指定することで対象拡張子のファイル名が Viewer タブにリストされます。自動開始 (AutoView) ボタンを押すとリストの画像が順番に表示されます。



画像(Image)の拡張子指定



対象ディレクトリ指定



自動表示実行

## ■表示時間設定

表示時間をミリ秒単位で調整できます。1,000 ミリ秒が1秒です。自動表示している最中でも変更できます。

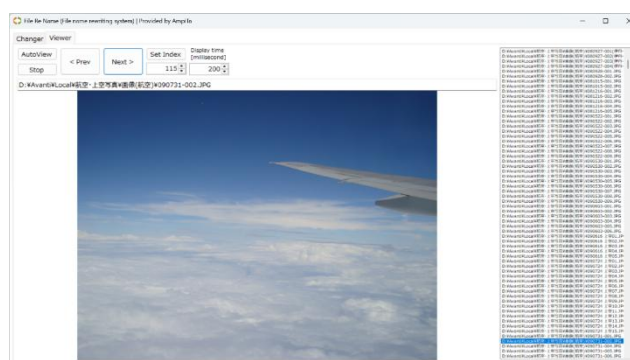
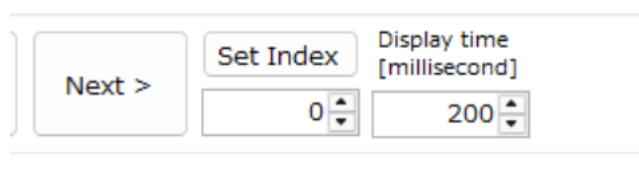
\* この表示時間とは、次の処理へ移るまでの待機時間です。次のファイルサイズが大きい場合などは設定値以上に長く表示されます。

## ■指定位置開始

画像表示は指定位置から開始できます。インデックス欄に数値を入力するか、画面右側のリストを選択します。インデックスの始点は0(ゼロ)です。

\* この表示時間とは、次の処理へ移るまでの待機時間です。次のファイルサイズが大きい場合などは設定値以上に長く表示されます。

riting system) | Provided by AmpiT



※. 詳細は公式サイト(<https://www.ampita.jp>)に掲載していますのでご参照ください。